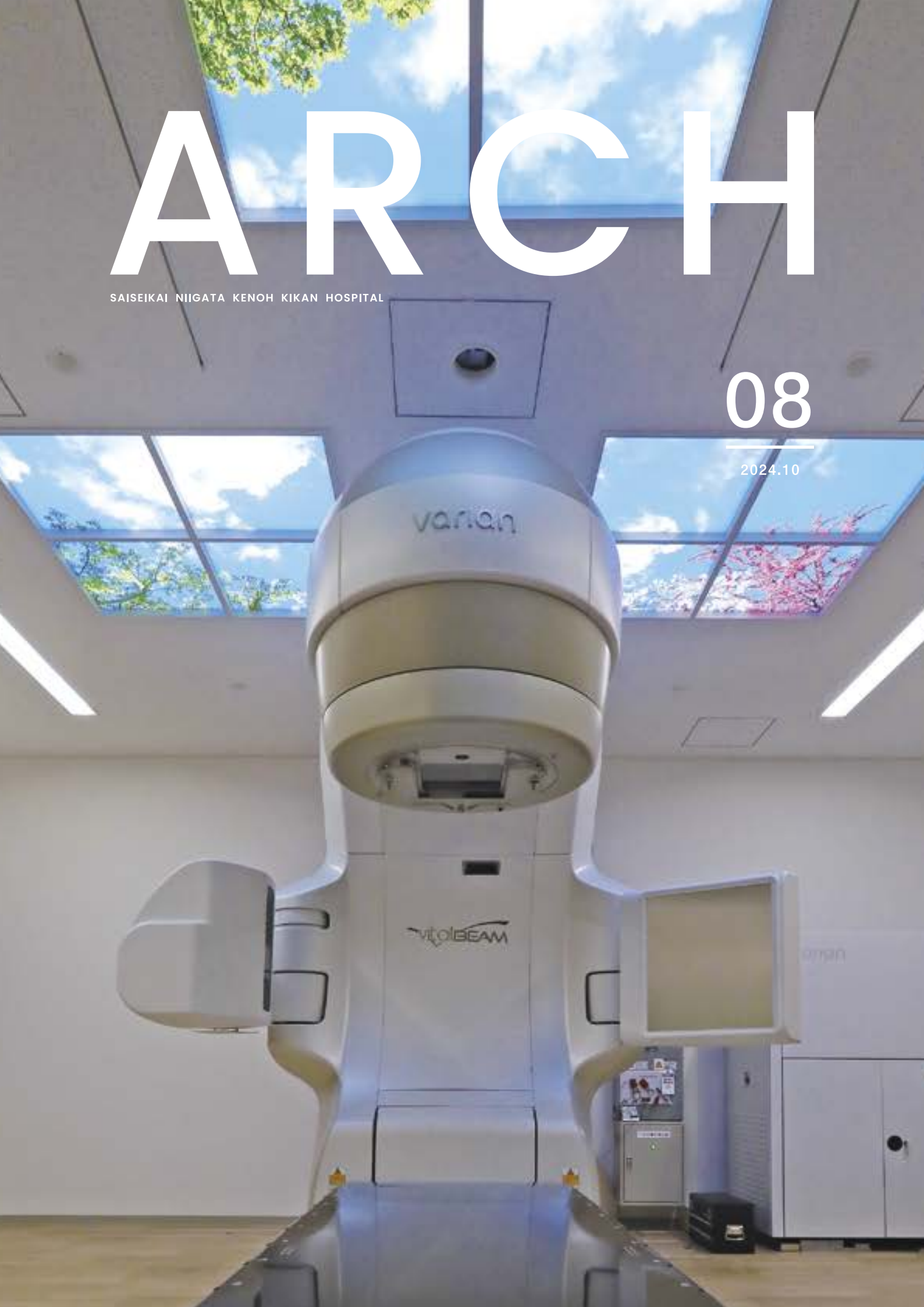


ARCH

SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

08

2024.10





県央地域の 安心のために。

放射線技師と医師で構成され、
日々様々な検査や放射線治療などを行っている放射線科。
本年8月にはCT・MRI・RIの共同利用受付枠を拡大し、
今後更なる活躍が期待されています。
今回は、そんな放射線科をまとめる
高野先生にお話を伺いました。

CT

X線を用いて様々な情報を得ることができます。当院では新規導入した2台のCT装置が稼働しており、検査目的によっては造影剤という薬を用います。また、当院では可能な限り被ばく量の低減に努めております。



MRI

MRIは放射線を使用せず、強い磁場によって検査します。磁場を用いるため、金属類は検査室に持ち込む事ができません。当院では最新技術を用いた装置を導入しており、従来の装置よりも短時間で検査を行えます。



RI

核医学検査は特定の臓器や組織に集まりやすい性質を持った放射性医薬品を注射し、そこから放出される放射線を画像化することにより体内の様子を調べる検査です。当院の装置はX線CTが一体となっており、より詳細な情報を得ることができます。



リニアック

県央地区で唯一、放射線治療が可能な装置です。壁や天井の明るい風景パネルや、木目調の壁・床面など、患者さんの不安・緊張感を和らげ、リラックスして治療を受けていただけるよう工夫を凝らしています。



2024年8月救急科からの依頼件数／811件(日中と夜間の合計)

放射線科 主任診療科長

高野 徹 TAKANO TOORU

・日本医学放射線学会 放射線診断専門医
・日本インターベンショナルラジオロジー学会 IVR専門医
・日本医学放射線学会 研修指導者
・マンモグラフィ読影認定医
・臨床研修指導医



●放射線科の業務内容について教えてください。

放射線科では、まず第一にCTやMRIを中心とした画像の撮影と、画像を読影（診断）した結果をレポートにする業務があります。他には放射線治療、血管内治療があり、この3つが大きな柱です。当科は常勤医師の私と25名の診療放射線技師で構成されており、撮影は放射線技師、読影と血管内治療は私が担当し、放射線治療は大学から派遣された出張医師が行っています。

当院は県央地区で唯一放射線治療が可能な施設です。放射線治療はがんに対する治療が主体で、医師が作成した照射計画に基づき、放射線技師が放射線を照射します。血管内治療は、多発外傷の患者さんの出血をカテーテルを使って止めるなど、救命医療の手助けをすることもあり、がんに対する治療も少ないですが行っています。

●済生会新潟県央基幹病院ならではの当科の特徴はありますか。

当院は救急医療に力を入れているので、当科も放射線技師が24時間常駐し、いつでも撮影が可能です。もう一つの特徴は、夜間などの時間外でも画像の読影を行えるアプリを採用していることです。例えば、当直の医師は自分の専門外の患者さんを診察しないといけないので、どうしても判断が難しい場合は画像を私の携帯電話に転送してもらい、読影するようにしています。これも県内で行っている病院は少ないと思います。

●現在おこなっている地域連携について教えてください。

当院では地域のクリニックからのCT、MRI、RIの利用依頼を受けており、撮影のみ行う共同利用もあれば、希望によって読影レポートを付ける場合もあります。画像は私が熟練の放射線技師がチェックし、問題がありそうな場合はクリニックの先生に状況を連絡し、緊急の対応が必要な時は当院の医師が対応します。

画像の撮影は需要が多く、地域連携としても非常に重要です。クリニックではCTやMRIの画像を撮れない状況で診察を行うため、医師の心理的負担はとても大きいはずで、患者さんのため、開業医の先生方のストレスを減らすためにも、当院に気軽に利用依頼できる状況を作っていくことも大切だと思います。

●業務の上で大切にされていることや、今後の展望について教えてください。

読影レポートの作成は、なるべく撮影当日に終わらせるようにしています。レポートが遅くなると、偶然見つけた病変を放置する時間が長くなります。その場合、診療が間違った方向に進むことがないとは言えないので、より正しく、遅れがないようにするためにもレポートを早く作成することを大切にしています。

今後についてですが、放射線科の医師を増やしたいです。救急での画像診断、緊急性の高い血管内治療に対応できる医師が私以外にもいれば、放射線科としてもっといい仕事ができるはずです。来年度から当院も基幹型の研修施設として稼働するので、放射線科を選択する研修医への指導にも力を入れています。





看護部 病棟勤務

井上 葵 INOUE AOI

●この仕事のやりがいや特徴を教えてください。

私の勤務している病棟は手術を受けられる患者さんが多く入院の激しい病棟です。忙しい中でも、患者さんが手術を受け徐々に回復していく姿や、元気に退院していく姿を見ることができるとは、とてもやりがいを感じます。またケアを行う中で、「ありがとう」など感謝の気持ちを伝えていた時には、看護師になって良かったな、もっと頑張っていきたい、と思います。

●この仕事を選ばれたきっかけ、経緯を教えてください。

私は学生時代に怪我をして、入院して手術を受けた経験があります。入院生活において不安を感じていた私に、優しい声を掛け、寄り添って下さった看護師さんの姿を見て、私もそんな看護師になりたいと思い、この道を選びました。

●ご職種の普段の業務について、具体的に教えてください。

病気や怪我などで不自由な生活を送る患者さんに対して日常生活の援助を行っています。外科的手術を受けられる患者さんが多く入院されていますので、患者さんが適切な治療を受けられ、早期回復できるよう医師や薬剤師、リハビリスタッフやMSWなど多職種と連携し医療を提供しています。



●将来の目指す姿や目標はありますか？

患者さんと関わる中で、どのように声掛けをしたらよいか分からない時があります。そのような場面で、患者さんの思いを受け止め優しい声掛けをしている先輩の姿を見習って、私も思いやりを持って患者さんに接することができるよう看護師、患者さんに寄り添い心身共にケアができる看護師になりたいです。



「井上さんのお気に入り」

休みの日には、友達と県外へ遊びに出かけたり、LIVEに行ったりしてリフレッシュしています！

FAVORITE!

済生会新潟県央基幹病院の各部門について、その役割や日々の業務をご紹介します。

県央TEAMS

感染管理室



【感染対策のエキスパート集団】

感染管理室は、患者・家族、職員の感染制御のためにICT(Infection Control Team)・感染対策チーム)・AST(Antimicrobial Stewardship Team)・抗菌薬適正使用支援チーム)を結成しています。医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員で構成されており、専門家集団によるチーム医療として、安全で良質な感染対策の実践や適切な抗菌薬使用など患者さんに質の高い医療を提供できるように、組織横断的に活動しています。具体的には、院内くまなく定期的なラウンド(見回り)を実施し、改善点などを提案したり、感染対策に対する相談を受けたり、マニュアルを作成し実施状況を確認、研修会の企画開催、細菌検査結果をもとに感染状況を把握、抗菌薬投与されている症例について検討し、必要と判断される症例に



〈地域に向けてメッセージ〉

感染症にかからないことが一番です。日頃から、手洗いやマスクの着用などの感染対策をしていただき、もし、発熱や咳くしゃみなどの風邪症状がある場合は、直接病院には行かず、まずは電話で問い合わせてください。

【周囲への感染を広げないために】

発熱、咳、くしゃみ、鼻水、のどの痛みなどの症状があるときは、新型コロナウイルス、インフルエンザなどの病気が考えられます。これは、咳やくしゃみのしぶきを介してうつる病気ですので、そのしぶきを遮断することで予防できます。具体的には、手洗いとマスクの着用です。また、咳やくしゃみをするときは、人に向かってしない、口を覆う、その後手洗いすることが大事です。咳やくしゃみがある方はマスクの着用をお願いします。

今知りたい

Q&A

感染管理室Q&A

Q 県央基幹病院を受診するのですが、マスクは必要ですか？

A 病院には、感染症の方や重症化リスクの高い方がたくさん来院しています。その方と、ご自身を守るためにマスクの着用をお願いしています。

Q 感染症を予防するために、なにをすればよいですか？

A まずは、手洗いです。そして、マスクの効果的な場面での着用が重要です。また、ワクチンで予防できる感染症に対してはワクチン接種をおすすめします。



登録医のご紹介

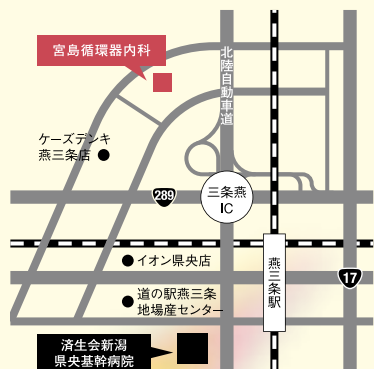


宮島循環器内科(燕市)

〈院長〉宮島 静一 様



- まず、御クリニックについて教えてください。
- 診療科は内科・循環器内科です。1982年に新潟大学第一内科を卒業後、新潟大学附属病院、次いで立川総合病院で循環器診療に携わりましたが、縁あって1995年から当地の燕労災病院に勤務しました。治療した患者さんも増え、将来もこの地で診療を続けたいと思っていたところ、2005年6月に50歳となった時に、条件が整い開業に踏み切りました。専門分野は循環器内科全般で、特に不整脈です。
- 日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？
- 急性冠症候群や重症不整脈などの救急疾患は時間との勝負ですので、1stタッチから危険な兆候を見逃さずに早く診断して治療につなげるようにしています。心臓弁膜症などの慢性疾患は手術のタイミングが重要になるので、最適な時期に紹介するようにしています。どちらの場合も、県央基幹病院様などの協力病院との連携が重要になるので、スムーズな情報の受け渡しに努めています。
- 日々の生活の中で、気を付けた方がよい症状はありますか？
- 当院の患者さんは主に成人で、胸痛や動悸で受診されます。他のクリニック様からの心臓病の精密の依頼も受けています。また、最近では病状から今後の治療継続目的での逆紹介も多くなっています。気になる胸痛・動悸などの症状や、検診での異常などがありましたら、受診してください。
- 地域にとってどんなクリニックを目指していますか？
- 高齢化に伴い心臓病は増えています。早期に診断することで治療につなげ、この地域の循環器診療に貢献したいです。また心臓病は手術やカテーテル治療後も通院が必要なが多く、アフターケアとしての内服加療が重要です。これにも力を入れています。いずれも県央基幹病院様との連携が重要になるので、日頃から連携を密にしていきたいと思っています。



医療法人社団 宮島循環器内科【循環器内科、内科】

〒959-1232 新潟県燕市井土巻4丁目279番地

診療時間／午前8:30～12:00 午後15:00～17:30

TEL／0256-61-6501

アクセス／燕三条駅から徒歩16分、三条燕ICから車で2分

休診日／木曜、土曜の午後・日曜・祝日

HP／<https://www.miyajimajunkanki.com/>

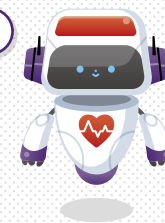


	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30～12:00	●	●	●	●	●	●	
午後	15:00～17:30	●	●	●		●		

ケン オー
KEN-O くん

院内ウォーキング

〈HOSPITAL WALKING〉



ケン オー
KEN-O くん

済生会新潟県央基幹病院の新米ロボット。県央地域のみなさんが健康で楽しく暮らしていくためのお手伝いをするべく、日々勉強中。このコーナーでは、KEN-Oくんが院内をまわり、院内設備の紹介や各受付への行き方などをご紹介します。

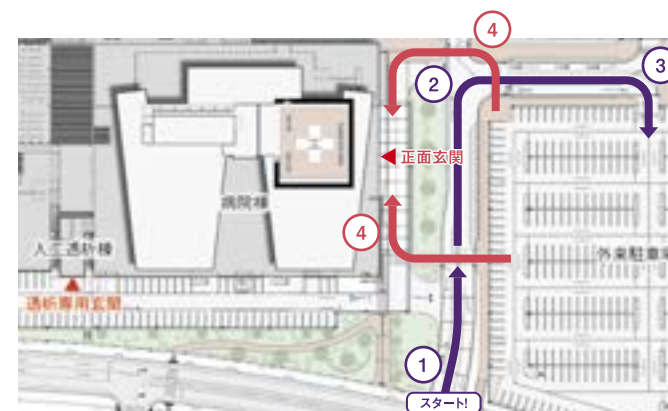
外来駐車場から正面玄関まで



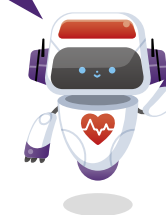
正面玄関入口をご利用の方はそのまま直進します。

直進していくと道が分かれるので、右折してください。

突き当りを右折すると駐車場に到着します。



「済生会新潟県央基幹病院」の病院名看板の隣の扉が玄関です。奥の扉は、時間外出入り口となっています。



駐車後は、歩行者専用道路と横断歩道を通って正面玄関までお越しください。

リハビリスタッフが教える

ウォーキング

普段の歩きとは異なり、健康的なフォームを意識して行う歩きを「ウォーキング」といいます。有酸素運動の代表的な運動で、体脂肪燃焼や体質改善、生活習慣病の予防に効果があるほか、「幸せホルモン」と呼ばれるセロトニンの分泌を促す効果もあり、精神の安定にも繋がると言われています。今回はウォーキングを効果的に行うためのポイントをご紹介します。



この動きを繰り返し、歩きます。

POINT

適切な靴選びも、ウォーキングの効果を強める大切なポイントです。ぜひ意識してみてください！
良い靴選びのポイント ①靴と足がフィットしている ②靴の前1/3が適度に曲げられる

01 REPORT

防災ヘリコプターの訓練を行いました



9月5日、新潟県消防防災航空隊および三条市消防本部の立ち合いのもと、当院にて防災ヘリコプターの離着陸および傷病者引継ぎ訓練を行いました。この訓練は、災害時や緊急時に備え、ヘリコプターの安全な離着陸と、傷病者の引継ぎ手順を確認することを目的としています。

今回使用した防災ヘリコプターは、ドクターヘリよりも一回り大きく、ダウンウオッシュ（ヘリコプターの回転翼から吹き下ろされる風）の影響が強いのが特徴です。そのため、離着陸時には飛散物が発生しやすい、特に安全面に十分な注意が必要です。訓練中は、医療スタッフやヘリコプターの近くに立ち入る際、飛散物（医療

02 NEWS

「広報つばめ子ども記者」が取材に来てくれました



7月26日、燕市内の小学5・6年生5名が『広報つばめ子ども記者』として、当院の取材に来てくれました。今回の取材では、こどもたちが自ら考え、地域の皆さまに伝えたい情報として、済生会新潟県中央基幹病院を取り上げてくれました。

取材当日は、遠藤病院長と岩淵統括副院長へのインタビューが行われました。子ども記者の皆さんは、緊張しながらも一生懸命に質問を投げかけてくれました。理由は何ですか？という病院運営や地域医療に関する重要なテーマから「なぜお医者さんになったんですか？」という医師としての個人的な質問までありま



済生会の「無料低額診療事業」のご案内

当院では社会福祉法に基づき、医療費の軽減・減免を行っております。療養生活において経済的な事情がございましたら、お気軽に患者サポートセンター（2階）窓口にお声掛けください。医療ソーシャルワーカーが対応いたします。

【お問合せ】患者サポートセンター

TEL.0256-47-4700（代表）

QUESTION

VOICE Q&A

ご利用者の皆さんからいただいたご意見・ご質問にお答えします。

Q 1 診察の順番が知りたい。

この度はご不便をおかけいたしまして、誠に申し訳ございません。当院の診察室前に設置されている案内モニターでは、4番目までの順番をご確認いただけます。また、当院の1・2階再来受付機協と3階Gブロック受付協には「患者案内モバイルシステム」を設置しております。こちらの機器に診察券を通していただくことで、現在の診察順番をご確認いただけます。さらに、メールアドレスをご登録いただくと、右記の通知を受け取ることができます。各科の待合室にいらっしゃらなくても通知を受信でき、待ち時間を有効にお使いいただけますので、ぜひご利用ください。

「患者案内モバイルシステム」

メールアドレスを登録することによって以下の通知をメールで受信できます。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 診察順番通知 | 診察の順番が3番目以内の時と順番が来た時に通知します。 |
| 2 前日予約通知 | 予約の前日に予約時刻や予約内容などを通知します。 |
| 3 受付完了通知 | 受付の完了時に受付番号を通知します。 |



1階/再来受付機協



2階/再来受付機協



3階/Gブロック受付協

Q 2 玄関前に車・バス待ちの椅子を置いてくれませんか？

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。正面玄関前とバス待合前にベンチを設置いたしましたので、ぜひご利用ください。今後も皆さまのご意見を大切に、より良い環境づくりに努めてまいります。



正面玄関前



バス待合前



済生会新潟県中央基幹病院はご利用者の皆さんの声に対応しております。

済生会新潟県中央基幹病院では、いただいたご意見をもとに、皆様により快適にご利用いただける病院を目指し、日々改善を続けて参ります。お気づきの点がございましたら、1階エスカレーター前・2階待合口ビー協に設置されておりますご意見箱に、皆さんの声をご投函ください。よろしくお願いいたします。



SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

ANSWER



〈今月号の表紙の写真について〉

放射線治療室には天窓があります。天窓からは緑の木々の向こうに白い雲と青空が広がります。とても爽やかな景色です。この天窓は仮想の天窓。患者さんにリラックスして放射線治療を受けていただく空間演出です。



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会新潟県央基幹病院

〒955-0091 新潟県三条市上須頃5001番地1
TEL.0256-47-4700 FAX.0256-33-8808
<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>

病院のサイトには
右記QRより
アクセスしてください

